

コロナ禍下での練習等活動についてのガイドライン

2021年1月6日
(公財)日本セーリング連盟オリンピック強化委員会

1. はじめに

セーリングは、屋外、海上でのスポーツであり、密閉空間、密集場所、密接会話の、いわゆる3密には該当しませんが、感染するリスクはゼロではありません。本ガイドラインをよく読み、各自で最大限の感染防止策を講じる努力をして行動するようにお願いします。

2. 練習等活動の実施および継続の判断

2.1 江の島、葉山での活動の場合

江の島ヨットハーバーまたは葉山港の閉鎖、もしくは神奈川県からの自粛等の要請があった場合、

- ・ 練習中の場合には、即座に練習を中止し、自宅待機をお願いします。
- ・ これから練習を計画している場合には、計画を延期するよう、お願いします。

2.2 沖縄または各地元での活動の場合

- ・ それぞれ施設の指示または要請に従い、練習の開始／継続可否を判断してください。

2.3 政府または各自治体による緊急事態宣言またはそれ相当が発令された場合

- ・ 発令内容を遵守し、かつ2.1、2.2項に記載の行動をお願いします。

2.4 クラスタ発生した場合

- ・ 発生時点で練習期間中の場合には、練習を即時中止し、自宅待機をお願いします。

上記いずれの場合も、選手の所属企業または保護者の意見を十分に尊重し、整合したうえで、練習会等の実施／延期を判断してください。

3. 感染回避のための行動ガイドライン

- ・ 誰が感染しているかわからないため、ハーバーへ通う際には公共交通を利用しない。
- ・ ドアノブや手すりなどからの接触感染を防ぐため、顔に手を触れる、食事前には手洗いまたはアルコールで手指消毒を行う。
- ・ 食事をしながらスマホを操作しない、画面に触れない。
- ・ ミーティングは屋外、少なくとも各人が2m離れて、穏やかに話す。
- ・ 準備、練習、片付け時にはなるべく少人数で、あるいは時間差をつけて行う。
- ・ 海上練習の後は、すみやかに帰宅する。
- ・ 陸ではマスク等を着用する。
- ・ 自宅に多数人を招いて密室状態での食事は避ける。家族がいる場合は時間差をつけたり、対面を避けて食事をするなど工夫する。
- ・ 会食を避ける。外食の際、マスクを外して食事をとる時は、話をしない。話す時はマスクをする。
- ・ 手を触れる場所はアルコールで消毒するのが好ましいが、全部拭くことは不可能なので、手指消毒を行うことが賢明な対策である。
- ・ 他の人に感染拡大させないために、日ごろから濃厚接触になる人を最低限度にする努力をすること。濃厚接触者とは、感染者が発症してから濃厚接触があったかどうかで判定される。

4. 体調管理と感染時の連絡

- ・ 毎朝晩、必ず検温し、記録を残すこと。接触型の個人用体温計を持つこと。
- ・ One Tap Sports への報告を毎日行うこと。
- ・ 発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚・臭覚の異常など、コロナの疑いがある症状が出たら、ハーバーへは行かないこと。
- ・ これらの症状がある場合には、すみやかに自チームのコーチに連絡すること。コーチはオリ強マネジメントへ、すみやかに報告すること。
- ・ 家族、友人、周辺の人に発症者が出た場合には、すみやかに自チームのコーチに連絡すること。コーチは発症者の状況も合わせて、オリ強マネジメントへすみやかに報告すること。
- ・ 無症状のままの陽性もあるため、感染してしまったとしても、慌てず、隠さず、すみやかに報告をすること。

以上